秋は文化部が輝く季節！！

文化の秋！特集号

昨年のグランドステージでの合同合唱の様子

芸文祭スタート！

スポーツ、食欲…「秋」に続く言葉はたくさんありますが、今回取り上げるのは「文化の秋」。目立たなくても、運動部に負けない情熱とこだわりで活動しています。これを機に都留高文化部にもぜひ興味を持ってください。

10月、11月は芸文祭をはじめとする文化部の大会が多い季節です。今月は本番を間近に控えた文化部の皆さんに意気込みを聞きました。（掲載は芸文祭日程順）

都留高ニュース
発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月2丁目11-20
編集
都留高新聞同好会

質問
Q１．芸文祭の意気込み
Q２．○○部の特徴［好きなもの、ついやってしまうこと、などなど…］
Q３．最後に一言

茶道部
1，相手高にお茶を楽しんでいただけるよう、精一杯お手前してきたいと思います。
2，お菓子を食べている時の幸せ顔はピカイチ！
3，この記事が目にとまった人！まだまだ部員募集中です！鶴聲ホール茶室に来てください。
～芸文祭は10月26日～

吹奏楽部
1，芸文祭では優秀賞を目指して頑張ります。
2，一人一人が個性豊かな部活です。
3，応援よろしくお願いします。
～芸文祭は11月3日～

合唱部
1，新体制となって最初の発表の場となるので、良いスタートがきれるように頑張ります。
2，言動がおもしろい。先輩後輩関係なく仲が良い。
3，今年は合唱部門がメインなので曲数も多いですが、精一杯頑張ります。
～芸文祭は11月4日～

放送部
1，日頃の成果を発揮して頑張ります。
2，普段はもごもごしゃべる。
3，入賞目指して頑張ります。応援、よろしくお願いします。
～芸文祭は11月4日～

囲碁将棋部
1，今の僕達がもっと実力を全力で出し、最高の結果が出せるようベストを尽くしたいと思います。
2，現在10名の部員がいて、それぞれ本気でやっていたり、気ままにやっていたり、小向と話したりしています。
3，男子でも女子でも初心者でも実力者でも大歓迎です。ぜひ、一度遊びに来てください。
～芸文祭は11月4日～

箏曲部
1，少ない人数、限られた時間の中で練習してきました。本番はみんなの力を合わせ精一杯演奏します！応援よろしくお願いします！
2，普段は若鶴祭や芸文祭に向けて練習しています。みんなお菓子が好きでゆるく活動しています！）
3，新入部員、まだまだ募集中！箏は見た目ほど難しくないよ！
～芸文祭は11月6日～

新聞同好会
1，先輩から受け継いでやってきたことを他校の皆さんに伝えられるように頑張ってきます！
2，見た目によらず電子機器に強い！何度も書きますが、大食らい（笑）。最近「キャラが濃い」と言われます…
3，書くことに興味があるあなた！色々な人と話したいあなた！なんか楽しそう！と思ったあなた！いつでも仲間を募集しています！
～芸文祭は11月8日～

写真部
1，芸文祭で賞がとれるように良い作品を作ります。
2，個性的な人がたくさんいて、とても明るい部活です。
3，良い作品をつくるためには、みなさんの協力も必要です。ぜひモデルになってください！
～芸文祭は11月14から20日～

美術部
1，部員がそれぞれ自由に制作に取り組んでいます。特に今は芸文祭などの大きな美術展に向けて作品を作っています。
2，部のみんなの頭の中が気になります…
3，学校で作品の展示がある際にはぜひ足を運んでみてください。
～芸文祭は11月14から20日～

書道部
1，見た人全員がすごいと言ってくれるような作品をみんなで作り上げたいです。
2，部員は15人で、パフォーマンス大会の準備や芸文祭などに向けて個人の作品制作をしています。
3，あまり目立たない部活かもしれませんが、応援してもらえると嬉しいです。
～芸文祭は11月14から20日～

部活以外にも「つる探」での研究成果の発表も行われる部門もあります。それぞれ場所や日程が違いますが、離れたところで各部活の健闘、応援お願いします！

昨年の甲府市内のパレードの様子

野球部・サッカー部も頑張っています

９月、１０月と各部の新人戦に先立って野球部とサッカー部が試合を行っています。その結果を報告します

野球結果
◇一回戦
都留 ３ ０ ０ ０ １ １ １ １ １　８
笛吹 ０ ０ ２ ０ ０ ０ １ ０ ０　３
◇二回戦
吉田 ０ １ ０ ０ ２ ０ ０ １ ０　４
都留 １ ２ ０ ２ １ ０ ３ １ x　10
◇三回戦
都留 ０ ２ ０ ０ １ ０ ０ ０ ０　３
日川 ０ ０ ０ ０ ０ ０ ０ ０ ０　０
準々決勝
都留　２ ００１１０００４　８
甲府工 １１４０２１１０ｘ 10

サッカー結果
◇二回戦
都留２－０塩山
◇三回戦
都留０－６帝京三

コーナーキックを蹴る安留君

集え！理科好き！

わかつるサイエンスフェスティバルレポート

10月6日(土)にわかつるサイエンスフェスティバルが行われた。

小学生を対象に都留高生が理科のおもしろさを伝えるこの会は毎年賑わいを見せている。今年は定員を大幅に超える参加申し込みがあり、小学生85人が集まった。

優しく丁寧に子どもたちに教えています

参加者全員が体験する「チャレンジブース」では化学、生物、物理の３分野から、スーパーボール、顕微鏡、ホバークラフトを作るブースが出された。

「遊びの広場」では、化学、生物、物理、地学、数学の各分野から、去年より２つ増えた14のブースが出され、子供たちは思い思いの所で楽しみながら科学を学んでいた。

保護者にもお話を伺った。「おにいさん、おねえさんが誘ってくれて、いろいろ楽しめているみたいで、よかったです。」「実験が大好きなので、夢中になっていました。とても良かったので来年も参加したいです。」小学生たちも楽しめた様子だ。

様々なブースを企画した理系の先生方にインタビューした。

平井先生「子供たちがたくさん来てくれて、驚きました。科学に触れる機会というのは、なかなか少ないことだから、高校がそのような場を提供できるのは良いと思います。」

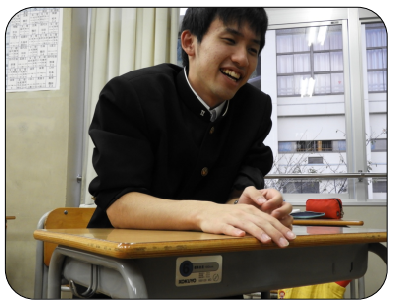
堀内先生「高校生が、小学校低学年に教えるというのは難しいし、なかなかできることではありません。きっと良い経験になったと思います。また、『理科離れ』と言われるなか、小学生にとっても、理科に興味を持ってもらう良い機会になったと思います。」

大久保先生「子供の頃体験したことは面白いです。でも、それだけではなくて、今日うまくできなかったこともあると思います。それをそのままにせず、なぜうまくできなかったかを考えて、夏休みの自由研究で調べたり実験したりしてくれることを期待します。」

子ども達と同じ目線になって教えています

理科の不思議を通して、小学生と高校生の交流が深められた良い会だった。今後も様々な活動を通して地域との関わりを深めて欲しい。

今、注目の人



二刀流・平井駿之介君（2年4組）

新生徒会長平井駿之介君

今回の注目の人は、先月の生徒会選挙で生徒会長に当選した平井駿之介さん。生徒会活動だけでなく、部活動やクラスでも活躍しています。両立の秘訣は？気になります！

記者（以下、記）「会長当選おめでとうございます。今の心境を教えて下さい。」

平井会長（以下、平）「ありがとうございます。高校で生徒会長をやると思っていなかったので、自分でもびっくりです？人数も多いのでリーダーシップをとって、部活とも両立して…頑張りたいです。」

記「まず、やってみようと思うことは何ですか。」

平「この１年活動するなかで、主に学園祭と球技大会で、要望があって…生徒会の力でどこまで変えられるか分からないけど、みんなの意見を聞いて、先生とも相談しながら少しづつ変えていきたいです。」

記「生徒会が、生徒と先生の橋渡しになる、みたいな？」

平「はい、そうですね。」

記「卓球部と囲碁将棋部を兼部しているそうですが、大変ではありませんか。両立のコツは」

平「両立のコツ…。まあ、どれでも力が出せているのは、いろいろやっているからだと思います。追い込んだ方が力がでるから、自分からいろいろやっています。だから、やらされている、とか、大変だ、とか思ったことはないです。」

記「卓球では団体３位（関東大会出場）、囲碁将棋（全国大会出場）でも結果を残していて、…両方極めたい、みたいな？」

平「将棋は、中３から始めたんです。受験で部活を引退して暇だったから…急激に伸びましたね。」

記「これからの目標を。」

平「生徒会では、さらに効率よく活動できるようにし、裏方ではありますが、スムーズに動けるように頑張ります。卓球は、個人も団体もベスト４、将棋は、３年生がいなくても優勝できるように練習していきます。」

大盛況！体育祭

9月27日に体育祭が行われた。雨の影響で体育館での開催となったため、綱引きやリレーで一部変更があったものの、大きな盛り上がりを見せた。

体育局長の３年後藤夏月さんに話を聞いたところ「雨の影響で昨年とは勝手が違ったけれど、皆さんの協力でスムーズに会の進行ができました。真面目なだけでなく、盛り上げる所は盛り上げる、都留高生の良い所を見ることができました。ブロック行事が少ないので、こういったときにすぐに団結できるのは素晴らしいと思います。これからも続けて欲しいです。皆さんのご協力ありがとうございました」と体育祭を総括してくれた。

※ちなみに総合優勝はＣブロックでした。

絡む網に悪戦苦闘！

騎馬戦で優勝した歓喜の瞬間！

自学進取

◇映画化された川村元気『億男』（文春文庫）は宝くじで3億円を当てた男がその使い方について相談及び預けた大富豪の友人に失踪され、その友人を探すための行程でお金について考えていく話だ。人間はお金に一喜一憂し、株の乱高下にも慌てふためく。◇宮崎正勝『世界史の真相は通貨で読み解ける』（河出書房新書）ではそのお金、通貨の歴史について論じている。最近話題になる目には見えない仮想通貨にも話が及ぶ。「仮想マネーは中央銀行から離れて、個人や企業が自由にインターネット上の電波で世界通貨をつくれるとする提言でした。また、暗号理論によって通貨の発行量は限られており、お金が『水ぶくれ』することはないとも主張されました。」しかし「なぜ特定の個人に『通貨』をつくる利権が与えられているのか、何によってその価値が保証されるのかについて、肝心な説明がないのです。」とあり、便利ではあるが結局は『金儲け』の一手段の気もする。◇そもそも経済は「経世済民」の略語である。その意味は世を治め民を救うものだ。消費税も10％になりそうな今、お金の意味をもう一度考えてみたい。

広告の方は
希望の方は
取材・新聞同好会まで
（木内）